



月刊喜界島ジオパーク令和7年12月号

喜界島ジオパーク推進協議会 事務局 土屋純子

●ジオパーク全国大会に 参加しました！

北海道・十勝岳ジオパーク

(美瑛町、上富良野町) 9/27～28



喜界島ジオパーク推進協議会では、北海道で開催された「ジオパーク全

国大会」に参加しました。大会では、全国のジオパーク関係者と交流し、それぞれの取り組みや課題について意見交換を行うなど、大変有意義な時間となりました。

・サンゴ留学生在がポスター発表！

今回の全国大会も、サンゴ留学生(喜界高校に通いながら喜界島サンゴ礁科学研究所で研究に取り組む学生) 4名が代表として参加し、研究成果をポスター発表しました。

『喜界島の地形の中にあるものから

過去の喜界島の環境を知る』

辻村颯汰さん(2年)
志垣祐輔さん(1年)

塩道・伊砂の地層に含まれる「れき、砂・泥・石灰岩・化石」などの特徴を詳しく調べ、島の過去の環境を読み解いた。

『喜界島の完新世サンゴ礁段丘Ⅲ面におけるハマサンゴ化石の成長速度』

森口健太さん(2年)
稲毛健人さん(1年)

同じ年代のサンゴ礁段丘から採取した化石ハマサンゴを3か所で比較し、

その成長速度の違いについて考察した。サンゴ留学生は、テーマを決めて島の自然を探究し、その成果を全国に向けて堂々と発表しました。今後の活躍がますます楽しみですよ！

●公民館講座を

実施しました！

10月4日、公民館講座の第4回・第5回を開催しました。今回は、喜界島サンゴ礁科学研究所の山崎敦子所長を講師に、午前・午後の二部構成で実施しました。

午前中は座学として、喜界島の成り立ち、サンゴ礁段丘の形成のしくみ、そしてそれらをつくっている岩石について学び、理解を深めました。

午後は海風を受けながら荒木中里遊歩道での野外観察を行い、6段に分かれたサンゴ礁段丘の露頭を実際に目で見ながら解説を受けました。

この場所は、喜界島が「隆起速度の速い島」であることを実感できるポイ

ントで、他の海岸に比べ段丘の幅が狭いことが特徴です。実際に、現地で隆起量を測量して確認する体験も行いました。また、午前中の講義を受けた「岩石」についても詳しい解説をしてもらいました。

参加者からは、「島の自然を実際に見て学ぶことで理解が深まった」といった声も聞かれ、充実した講座となりました。

